



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 神鋼商事株式会社

コード番号 8075

URL <http://www.shinsho.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 森地 高文

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 濱村 和裕

(TEL) 03-3276-2036

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	244,279	6.4	2,342	16.8	2,223	△9.5	1,138	△41.2
2019年3月期第1四半期	229,682	△3.2	2,005	1.7	2,458	3.5	1,936	6.5

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 1,139百万円(△3.9%) 2019年3月期第1四半期 1,185百万円(△31.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	128.55	—
2019年3月期第1四半期	218.67	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	305,181	55,316	17.4
2019年3月期	307,590	54,921	17.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 53,213百万円 2019年3月期 52,654百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	55.00	—	55.00	110.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	55.00	—	55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	480,000	3.8	2,800	△21.5	3,100	△20.8	2,000	△31.9	225.86
通期	980,000	2.9	6,900	△12.9	7,000	△12.7	4,600	△8.3	519.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	8,860,562株	2019年3月期	8,860,562株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	5,618株	2019年3月期	5,618株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	8,854,944株	2019年3月期1Q	8,854,966株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財務状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年6月30日）における世界経済は、米国経済を中心として緩やかに回復している一方、世界的な通商問題・中国経済の減速・金融資本市場の変動によるリスクが高まりました。わが国経済は、輸出や生産の弱さが続いているものの、安定した雇用・所得環境、設備投資に増加傾向が見られるなど、緩やかな成長が続きました。世界経済の動向や消費増税への懸念もあり、景気の先行きは不透明な状況となっています。

このような環境の下、当社グループの第1四半期連結累計期間における売上高は2,442億79百万円（前年同四半期比6.4%増）、営業利益は23億42百万円（同16.8%増）となりましたが、経常利益は22億23百万円（同9.5%減）となり、特別損失として投資有価証券評価損等を4億7百万円計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億38百万円（同41.2%減）となりました。

事業セグメント別の主な営業状況は、以下のとおりです。

#### ①鉄鋼セグメント

鋼板製品は、国内向けは取扱量が減少し価格は上昇しました。輸出向けは、取扱量が横ばいとなり価格は下落しました。線材製品は、国内向けの取扱量は横ばいでしたが、価格は上昇しました。輸出向けは、取扱量はわずかに減少しましたが、価格は上昇しました。

この結果、売上高は821億73百万円（前年同四半期比8.4%増）となりましたが、海外子会社・投資先の利益が減少したことにより、セグメント利益は11億68百万円（同13.9%減）となりました。

#### ②鉄鋼原料セグメント

輸入鉄鋼原料は取扱量が増加し、価格も上昇しました。冷鉄源、チタン原料は取扱量が増加しました。

この結果、売上高は800億17百万円（前年同四半期比16.3%増）となりましたが、海外子会社の利益が減少したことにより、セグメント利益は3億29百万円（同19.2%減）となりました。

#### ③非鉄金属セグメント

銅製品は、空調向け銅管は取扱量が増加しましたが、端子コネクタ向け板条は取扱量が減少しました。アルミ製品は、板条は自動車向け取扱量が増加しましたが、自動車・空調アルミ管向け押出材は取扱量が減少しました。非鉄原料は、アルミ屑は取扱量が増加しましたが、アルミ再生塊・アルミ地金は取扱量が減少しました。

この結果、売上高は554億54百万円（前年同四半期比6.7%減）となり、セグメント利益は4億円（同35.3%減）となりました。

#### ④機械・情報セグメント

機械製品は、ゴムタイヤ機械、産業用ブレーキ等の取扱いは減少しましたが、大型圧縮機、電池用材料、熱処理炉等の取扱いが増加しました。情報関連商品は液晶用材料の取扱量は減少しましたが、HD関連機器やPC部品等が増加しました。

この結果、売上高は152億85百万円（前年同四半期比1.0%減）となり、セグメント利益は2億28百万円（同253.1%増）となりました。

#### ⑤溶材セグメント

溶接材料は、造船・鉄骨・自動車・建設機械向けの取扱量は堅調に推移しました。輸出関連は韓国、中国向けを中心に増加しました。溶接関連機器は、省人化に対応した鉄骨溶接ロボットシステムの取扱いや、国内向け汎用溶接機の取扱いも堅調に推移しました。生産材料は、溶剤原料を中心に堅調に推移しました。

この結果、売上高は112億75百万円（前年同四半期比11.1%増）、セグメント利益は1億円（同577.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は3,051億81百万円となり、前連結会計年度末比24億8百万円の減少となりました。これは主に受取手形及び売掛金と前払金の減少によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は2,498億65百万円となり、前連結会計年度末比28億3百万円減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金と流動負債のその他に含まれる未払金の減少によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は553億16百万円となり、前連結会計年度末比3億95百万円の増加となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

投資有価証券の減損処理については、四半期洗替え方式を採用しており、今後、損失計上額が変動する場合があります。なお、2020年3月期の業績予想につきましては、他の要因を含め、業績予想の修正が必要と判断される場合は、確定次第速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,553	9,674
受取手形及び売掛金	182,963	177,359
電子記録債権	7,259	8,415
商品及び製品	46,176	47,608
仕掛品	703	752
原材料及び貯蔵品	1,640	1,435
前払金	16,050	13,642
その他	5,156	5,220
貸倒引当金	△129	△124
流動資産合計	265,373	263,984
固定資産		
有形固定資産	8,758	8,642
無形固定資産	699	714
投資その他の資産		
投資有価証券	28,146	27,557
その他	5,498	5,165
貸倒引当金	△884	△881
投資その他の資産合計	32,760	31,841
固定資産合計	42,217	41,197
資産合計	307,590	305,181
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	139,067	125,046
電子記録債務	16,304	16,547
短期借入金	38,868	50,564
未払法人税等	743	321
賞与引当金	1,009	598
その他	28,181	28,541
流動負債合計	224,174	221,621
固定負債		
長期借入金	23,685	23,635
役員退職慰労引当金	89	92
退職給付に係る負債	895	880
その他	3,824	3,635
固定負債合計	28,494	28,244
負債合計	252,669	249,865

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,650	5,650
資本剰余金	2,645	2,606
利益剰余金	42,133	42,785
自己株式	△17	△17
株主資本合計	50,412	51,025
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,480	2,195
繰延ヘッジ損益	△33	18
為替換算調整勘定	△205	△26
その他の包括利益累計額合計	2,241	2,188
非支配株主持分	2,266	2,103
純資産合計	54,921	55,316
負債純資産合計	307,590	305,181

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	229,682	244,279
売上原価	221,926	236,130
売上総利益	7,756	8,148
販売費及び一般管理費	5,751	5,805
営業利益	2,005	2,342
営業外収益		
受取利息	27	33
受取配当金	405	373
為替差益	304	—
デリバティブ評価益	—	97
持分法による投資利益	225	137
雑収入	97	139
営業外収益合計	1,060	782
営業外費用		
支払利息	213	343
売掛債権譲渡損	83	105
為替差損	—	282
デリバティブ評価損	247	—
雑損失	63	170
営業外費用合計	607	901
経常利益	2,458	2,223
特別利益		
負ののれん発生益	152	—
特別利益合計	152	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	393
会員権評価損	2	13
特別損失合計	2	407
税金等調整前四半期純利益	2,608	1,815
法人税、住民税及び事業税	485	378
法人税等調整額	161	260
法人税等合計	647	638
四半期純利益	1,960	1,177
非支配株主に帰属する四半期純利益	23	38
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,936	1,138

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,960	1,177
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	213	△276
繰延ヘッジ損益	△66	51
為替換算調整勘定	△920	165
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	21
その他の包括利益合計	△775	△37
四半期包括利益	1,185	1,139
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,240	1,084
非支配株主に係る四半期包括利益	△55	54

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用の算定方法について、当社は原則的な方法によっております。一部の関係会社においては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計			
売上高									
外部顧客への売上高	75,812	68,811	59,439	15,441	10,146	229,651	30	—	229,682
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	0	—	0	1	63	△65	—
計	75,812	68,811	59,440	15,441	10,146	229,653	94	△65	229,682
セグメント利益又は 損失(△)	1,358	407	619	64	14	2,465	△1	△5	2,458

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計			
売上高									
外部顧客への売上高	82,173	80,017	55,454	15,285	11,273	244,205	73	—	244,279
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	0	—	1	2	68	△70	—
計	82,173	80,017	55,454	15,285	11,275	244,207	142	△70	244,279
セグメント利益又は 損失(△)	1,168	329	400	228	100	2,228	△5	1	2,223

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の測定方法)

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に評価管理するため、セグメント間取引の調整方法及び当社の共通費等の配賦方法を見直し、報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。

前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント利益又は損失の算定方法により作成したものを記載しております。